

## 第14回周南コンビナート脱炭素推進協議会 議事要旨

### 開催要領

日 時 令和7年7月2日(水) 15:00～17:00

場 所 周南市シビック交流センター2階 交流室1 ※WEB 併用

出席者 藤井 律子 周南市長  
辻 佳子 公益社団法人化学工学会  
地域連携カーボンニュートラル推進委員会 委員長  
東京大学環境安全研究センター 教授  
太田 義彦 出光興産株式会社 執行役員 徳山事業所長  
児島 康弘 東ソー株式会社 常務執行役員 南陽事業所長  
奥野 康 株式会社トクヤマ 常務執行役員 徳山製造所長  
内田 俊彦 (代理出席)  
日本製鉄株式会社 山口製鉄所 副所長  
本間 彰 日本ゼオン株式会社 徳山工場 工場長

### 【オブザーバー】(敬称略)

土屋 博史 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長  
(代理出席)  
経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐 村松 雄太  
鈴木 純 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 所長  
(代理出席)  
国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所  
企画調整課 課長 荒木 達也  
難波 良多 林野庁 林政部 木材利用課 課長  
末廣 一水 山口県産業労働部 理事  
稲葉 和也 周南市水素利活用協議会 会長  
山口大学大学院技術経営研究科 教授  
福代 和宏 周南市木質バイオマス材利活用推進協議会 会長  
山口大学大学院技術経営研究科 教授

### 【補佐人】(敬称略)

松方 正彦 公益社団法人化学工学会  
早稲田大学理工学術院先進理工学部 教授  
石戸 利典 公益社団法人化学工学会  
株式会社 IHI エグゼクティブフェロー

藤井 実	公益社団法人化学工学会 国立研究開発法人 国立環境研究所
水口 能宏	公益社団法人化学工学会 日揮ホールディングス株式会社 執行役員 CTO サステナビリティ協創ユニット
池田 卓弥	公益社団法人化学工学会 三井住友信託銀行 サステナビリティ推進部
新美 雄太郎	公益社団法人化学工学会 三井住友信託銀行 サステナブルビジネス部
今井 博文	出光興産株式会社 製造技術部 担当部長
具嶋 文彦	出光興産株式会社 徳山事業所 担当部長
深澤 有紀	出光興産株式会社 CNX 戦略室 CNX 企画課
渡辺 宏	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課 担当マネジャー
大塚 雄一郎	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課
松村 善則	東ソー株式会社 南陽事業所 CO <sub>2</sub> 削減・有効利用南陽タスクフォースチームリーダー
徳田 友幸	東ソー株式会社 南陽事業所 CO <sub>2</sub> 削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム
鈴川 博之	東ソー株式会社 南陽事業所 CO <sub>2</sub> 削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム
佐田 純一	東ソー株式会社 南陽事業所 CO <sub>2</sub> 削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム
松本 和也	東ソー株式会社 南陽事業所 技術センター 生産技術室 GL
志賀 和宏	東ソー株式会社 南陽事業所 技術センター 生産技術室
久保山 洋	東ソー株式会社 南陽事業所 CO <sub>2</sub> 削減・有効利用戦略室 GL
末本 裕貴	東ソー株式会社 南陽事業所 CO <sub>2</sub> 削減・有効利用戦略室
井上 裕司	株式会社トクヤマ 執行役員 カーボンニュートラル戦略本部長
河野 敦之	株式会社トクヤマ 徳山製造所副所長 兼 工場企画運営 グループリーダー
大森 一幸	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 兼 工場企画運営グループ 主幹
小松 康尚	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主幹
中本 達也	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主幹
佃 宣和	日本製鉄株式会社 生産技術部 生産技術室 部長代理
伊崎 弘	日本製鉄株式会社 山口製鉄所 設備部 エネルギー室 上席主幹

坂口 哲也	日本ゼオン株式会社 徳山工場 副工場長
藤村 佳樹	日本ゼオン株式会社 徳山工場 脱炭素推進準備室 室長
上島 貢	日本ゼオン株式会社 経営企画統括部門 渉外部 部長
渋谷 智啓	日本ゼオン株式会社 経営企画統括部門 渉外部 理事顧問
入野 真一	日本ゼオン株式会社 原料部

【陪席・随行】（敬称略）

有間 光	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長
高浦 正樹	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長
木村 秀太	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長
山崎 将弘	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
杉田 実優	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係員
渡邊 愛子	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係員
宇山 正樹	経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官
内海 盛之	経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課長
桜井 奈津子	経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 総括係長
蔵下 弘樹	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 港湾利用調査官
盛山 豊	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 係長
小川 蒼太	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 係員
西山 弘樹	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 係長
立川 凌平	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 係員
中川 恭兵	林野庁 林政部 木材利用課 木質バイオマス係長
勢登 俊明	山口県産業労働部 産業脱炭素化推進室 主査

### 【事務局及び関係課】

道源 敏治	周南市副市長
荒美 雅丈	周南市産業振興部 部長
吉村 渉	周南市産業振興部 次長 兼 商工振興課 課長
周山 健太郎	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長
近藤 敬介	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長補佐
松元 悠生花	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
川口 洋司	周南市企画部 部長
今井 努	周南市企画部 企画課 企画担当
齊藤 康紀	周南市環境生活部 部長
田内 正彦	周南市環境生活部 環境政策課 課長

## 議事次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 副会長あいさつ
- 4 議事
  - (1) 令和6年度事業報告及び決算報告について
  - (2) 令和7年度事業計画及び予算案について
  - (3) 報告事項
    - ①全体報告
    - ②各チームの進捗について
  - (4) その他
- 5 閉会

## 1. 開会

(事務局)

それでは、ただいまから、「第14回周南コンビナート脱炭素推進協議会」を開催いたします。私は、本日進行を務めます周南市産業振興部次長の吉村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、次第のとおり進行し、終了時間を17時と予定しております。また、本日の会議につきましては、御案内のとおり、次第4. 議事(2) 令和7年度事業計画及び予算案についてまでの部分公開とさせていただきます。

なお、人事異動により、新たに構成員となっていた方がおられますので、ご紹介させていただきます。

東ソー株式会社 常務執行役員 南陽事業所長 児島康弘様、日本ゼオン株式会社 徳山工場 工場長 本間彰様、日本製鉄株式会社 山口製鉄所長 國岡信哉様、本日は代理で内田副所長様にご出席いただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたり、会長並びに副会長から挨拶をいただきたいと存じます。最初に、会長の藤井市長、よろしくお願いいたします。

## 2. 市長あいさつ

(会長)

皆様、こんにちは。周南市長の藤井律子でございます。

本日は大変御多用のところ、第14回周南コンビナート脱炭素推進協議会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、本協議会の発足から4年半が経過しましたが、アンモニアの供給体制やカーボンリサイクル事業の実装に向けた検討など皆様の御尽力により、周南コンビナートのカーボンニュートラル実現をめざし、具体的な取組が着々と進んでいるところでございます。カーボンニュートラルを取り巻く世界の動向に目を向けますと、各国政府や企業において、その対応が様々に変化を伴うものとなっていますが、カーボンニュートラルの実現を目指す大きな方向性は、今後も変わるものではありません。引き続き、皆様の英知を結集し、様々な課題を乗り越え、将来に向けた周南コンビナートの競争力強化を図ってまいりたいと考えておりますので、連携をさらに深めながら取り組んでいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、オブザーバーの皆様方におかれましても、お忙しい中、御参加いただき誠にありがとうございます。本日も、それぞれのお立場から忌憚のない御意見などを頂戴できれば幸いです。

そしてもう一つ、最近は大変うれしいニュースが続いております。

周南コンビナート各社におかれまして、カーボンニュートラル関連も含めた大規模な投資の発表が続いており、地域経済の活性化や新たな雇用の創出など、周南コンビナートのみならず、本市全体の発展につながるものと、大変大きな期待を感じているところです。改めまして、皆様方に心より感謝申し上げます。

以上、簡単ではございますが、冒頭のあいさつとさせていただきます。本日も活発なご議論をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

続きまして、副会長の公益社団法人化学工学会の辻佳子様、よろしくお願いします。

### 3. 副会長挨拶

(副会長)

皆さん、こんにちは。

先ほど藤井市長から4年半が経ったとありましたが、2050年を仮のゴールとすると6分の1が過ぎてしまいました。おそらく、今皆さんは色々な課題にぶつかっているところだと思います。なぜ課題にぶつかっているかというと、真面目に議論し、真面目に社会実装を目指しているためです。他の地域に比べて、課題が目の前に来ており、難しい状況になっていると思います。

この難しい状況の中ではありますが、私たちのモットーは、バックキャスティングです。課題を乗り越えていかなければなりません。先頭に立って取り組んでいるため、課題にもぶつかってしまいますが、手本となるように課題解決について一緒に取り組んでいければ良いと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

ここからの進行でございますが、協議会規約第6条第2項「総会の議長は会長をもってこれに充てる」によりまして、進行を会長である藤井市長にお願いいたします。

### 4. 議事

#### (1) 令和6年度事業報告及び決算報告

(会長)

それでは、早速ですが議事に入ります。

まず、議事(1) 令和6年度事業報告及び決算報告でございます。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

事務局の周山です。令和6年度、事業報告及び決算報告について、御説明いたします。はじめに、資料の1ページ、令和6年度の事業報告です。

1の協議会につきましては、6月、12月、3月と3回開催し、各回とも4つの検討チーム主査から進捗の報告を行いました。

また、6月の総会では、規約について、監事の任期を2年とし、再任は妨げない旨の改

正を行っています。

2 ページ、2 のワーキンググループは、7 月、10 月の 2 回、開催しました。

3 の啓発活動は、12 月に、南陽工業高等学校の「総合的な探求の時間」で、「周南コンビナートにおけるカーボンニュートラルの取組について」、と題した授業を、4 回実施しています。

また、1 月に徳山高等学校、2 月に南陽工業高等学校において、辻副会長に、「みんなで考えるカーボンニュートラル社会」、を御講演いただきました。

3 ページです。3 月にシンポジウム、「周南から発信する、未来のカーボンニュートラル社会」を開催し、多くの参加者のもと、東ソー株式会社、栗田社長様の御講演や、徳山工業 高等専門学校生徒の話題提供による、パネルディスカッションなどを行いました。

なお、会場でのアンケート調査の結果につきましては、先日、皆様にデータで配付しておりますので、次回開催の参考に御覧いただきますようお願いいたします。

続いて 4 ページ、令和 6 年度の決算報告です。

収入といたしましては、周南市からの交付金が 624 万 4400 円。支出といたしましては、旅費が 156 万 6872 円、委託料 259 万 6000 円が主なものとなっています。収入から支出を差し引いた、不執行分 165 万 5208 円は、周南市へ返還し、翌年度繰越金は 0 としています。令和 6 年度事業報告及び決算報告は以上です。

(会長)

ここで、監事を代表しまして、株式会社トクヤマ常務執行役員徳山製造所長の奥野様より、監査報告をお願いいたします。

(トクヤマ 奥野)

ただいま、御紹介をいただきました、株式会社トクヤマの奥野でございます。監事を代表しまして、監査報告をいたします。

令和 6 年度の周南コンビナート脱炭素推進協議会の決算に置きまして、厳正に監査した結果、その内容及び帳簿等関係書類において適正に処理されていることを認め、これを報告いたします。

(会長)

奥野様ありがとうございました。それでは、事務局からの説明及び監査報告について、御意見・御質問等がございましたら、御発言をお願いします。

(事務局)

それでは、特に御質問等ないようですので、令和 6 年度事業報告及び決算報告について、御承認ということでよろしいでしょうか。

【異議なし】

(会長)

御異議ございませんので、事業報告及び決算報告につきましては、原案のとおり承認されました。

## (2) 令和 7 年度事業計画及び予算案

(会長)

続きまして、(2) 令和 7 年度事業計画案及び予算案について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

令和 7 年度事業計画案及び予算案について、御説明いたします。

始めに 6 ページ、事業計画案をご覧ください。1 の協議会につきましては、今年度当初、日鉄ステンレス株式会社様が、日本製鉄株式会社様へ、社名変更されたことに伴い、規約の改正のため、4 月 1 日に、書面決議にて開催させていただいています。本日と、今後につきましては、10 月 2 日、12 月 25 日の計 4 回の開催を予定しています。

なお、シンポジウムの前日となる 3 月 13 日につきましても、状況を見ながら、協議会またはワーキンググループを開催する予定としています。

2 のワーキンググループは、必要に応じ、随時開催してまいります。

3 の普及啓発ですが、シンポジウムの開催日は、令和 8 年 3 月 14 日の土曜日、13 時からを予定しています

また、講演会につきましても、カーボンニュートラルの取組の意義を、若い世代に向けて発信するため、今年度も、高校生を対象に、実施したいと考えています。

続きまして、7 ページ、令和 7 年度予算案です。

収入の部では、周南市からの交付金、595 万 3000 円を計上しています。

支出の部では、運営経費として 214 万 7000 円、調査費として 150 万円、広報・啓発事業費として 140 万 2000 円などを計上しています。

今年度予算は、広報・啓発事業費を昨年度より増額しており、主には協議会の取組の PR に係る経費を想定しています。

令和 7 年度事業計画案及び予算案は以上です。よろしくお願いいたします。



(会長)

それでは、事務局からの説明及び監査報告について、御意見・御質問等がございましたら、御発言をお願いします。

(会長)

それでは、特に御質問等ないようですので、令和7年度事業計画及び予算案について、御承認ということでよろしいでしょうか。

【異議なし】

(会長)

御異議ございませんので、事業計画案及び予算案につきましては、原案のとおり承認されました。

ここで報道関係者の皆様にお願いがございます。事前に御案内させていただきましたとおり、本協議会の撮影・取材はここまでとさせていただきます。大変申し訳ありませんが、御退出をお願いします。

以上